

第2回例会 シニア研修会

開催日 2020年9月3日(木)

開催場所 真駒内CC(空沼コース)

競技の条件

1. ゴルフ規則

2019年度(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。

2. 使用クラブの規格

『ゴルフ規則 4.1a 適合クラブ』を適用する。(ゴルフ規則 25p 参照)

3. 使用球の規格

『ゴルフ規則 4.2a 適合球』を適用する。(ゴルフ規則 28p 参照)

4. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則 5.5 ホールとホールの間での練習禁止』(ゴルフ規則 34p 参照)は次のように修正する。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。(違反の罰:2打)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭で囲む。また青杭を立て、白線でその限界を標示する。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭、黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭、赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とする。
6. 8番ホールの横にあるマンリフト並びに防護ネットがプレーの障害となる場合には、プレーヤーは無罰にて指定のドロップ区域に球をドロップすることができる。
7. 8番ホール、13番ホール、17番ホールにおいて、球がレッドペナルティーエリアにあることが分かっているか、ほぼ確実な場合追加の選択肢として1罰打を加え、指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。
8. 14番ホールのアウトオブバウンズを越えていった球は、球が向こう側のコースに止まっている場合でもアウトオブバウンズの球とする。

注意事項

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、競技用カード交付場所付近に掲示して告示する。
2. パー3のホールに限り、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーイングエリアまで来ている場合、パッティンググリーン上にある球の位置をマークして全て拾い上げ、後続組プレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングエリアからプレーさせること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないよう注意すること。
4. コロナ対策として、ピンは抜かず立てたままのプレーを推奨いたします。

競技委員長 阿部 紀子